

発掘成果をふりかえって 2005

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

京都は794年に平安京がつくられて以降、1868年明治時代になるまで一千年以上にわたって都が置かれていたところです。当研究所では、そうした歴史的環境の中で、平安京をはじめとしてさまざまな時代の遺跡の発掘調査・研究を行なっています。今号では、この1年間に実施した京都市内の調査成果を紹介いたします。また今年度、平安宮豊楽殿跡出土品が国の重要文化財の指定を受けました。緑釉軒瓦や鴟尾などの一部は、考古資料館2階のテーマ展示コーナーで公開中です。



1 西京極遺跡 京都市右京区西院六反田町(検出状況と復原した土器)

立会調査で、幅1.8m・長さ4m以上の溝状遺構から弥生時代の土器がまとまって見つかった。壺・甕などが出土し、写真の壺には榊描文が見られる。



2 上里遺跡 西京区大原野上里南ノ町・長岡京市井ノ内北裏

古墳時代の竪穴住居7棟のほか竪立柱建物4棟・櫓・櫓列・自然流路などを検出した。長岡京右京二条三坊九十六町にあたり、一条大路南側溝・竪立柱建物・塙・井戸も見つかった。2002年度からの継続調査で、6世紀後半の集落の移り変わりがわかった。



3 平安京左京二条二坊十町 中京区竹屋町通油小路西入る西竹屋町

関白藤原頼通の邸宅であった高麗院跡の調査で、池南岸の洲浜と大炊御門大路の遺構(路面・北側溝・築地)を検出した。1982年の調査で見つかった池の北岸から140m離れており、高麗院の西半部の池の様子が明らかになってきた。



4 史跡 賀茂御祖神社境内(下禰神社) 左京区下鴨泉川町
平安時代の祭祀跡とみられる遺構が見つかった。石敷きの上に高さ10～20cmの盛り土が、ほぼ東西6m・南北11mの長方形に突き固められていた。水に関する祭祀を行なったと考えられる。



5 平安京左京六条三坊五町 下京区梅梅通新町東入る上柳町
旧尚徳中学校の敷地で、室町時代前期の裏掘り穴が見つかった。醸造用の甕の跡で、300基ほどが整然と並び常滑焼の破片も残っている。酒倉の跡と考えられ、下京の大規模な酒屋の一つであろう。



6 特別史跡・名勝 鹿苑寺境内(金閣寺) 北区金閣寺町
江戸時代に建てられた鹿苑寺方丈の解体修理にともなう調査で、室町時代前半に足利義満が造営した北山殿に関する建物の礎石や柱の抜き取り穴が見つかった。



7 白河街区跡・岡崎遺跡 左京区岡崎天王町
室町時代後半の建物跡・石組みの井戸・ゴミ捨て穴などを発見し、土器類の他に曲物・箸・下駄などが多量に出土した。応仁の乱前後の白河街区の町並みがわかった。



8 山科本願寺跡 山科区西野山階町(9次調査:左 10次調査:右)
室町時代後半の山科本願寺跡「御本寺」の推定地で、土層の下から直径1.2mの石を挿入付けた泉を検出した。また、1532年の焼き討ちを物語る焼土層から中国・明時代の五彩磁器などの輸入陶磁器や、仏具の一部のガラス製小玉・金銅製飾り金具などが見つかった。

